



南薩少年自然の家通信

令和7年11月発行 第56号

わたしたちの願い

篤き志
強い体
広い心



活動支援スタッフ「鹿南少ボランティア」の成果と今後の展望

所長 折田 信子

現在、南薩少年自然の家の鹿南少ボランティアには、中学生23人、高校生37人、大学生11人、合計71人が登録しています。本年度はすでに2回のボランティアセミナー「～活動を支援するためのボランティア～」を実施しました。参加者は普通救命講習や上級救命講習、防災避難訓練、クラフト活動、野外体験活動などを通して、ボランティア活動への理解を深め、体験活動のスキル向上やチームワークの強化を図ることができました。また、本年度は23回の当所の主催事業にボランティアが携わり、日常では体験できないリアルな活動を通して、新たな視点を広げたり、社会的なつながりを深めたりする貴重な機会を得ることができました。ボランティア活動は、単に知識や技術を学ぶだけでなく、問題解決能力やリーダーシップ、チームワークの重要性を実感する場でもあります。実際に参加した鹿南少ボランティアからは、「防災時の避難誘導など、日常生活でも活用できると思った。」「参加者と全力で活動を行うことの重要性を感じた。」「参加者への声かけ等のタイミングが難しいと感じた。」「4泊5日の事業だったが、体調管理に気を付けながら私自身も楽しめた。」といった様々な感想が寄せられました。また、参加にあたっては、当所までの交通手段が限られているため、保護者の皆様の送迎にもご協力をいただいております。ボランティアの活動は、達成感や成功体験、課題に立ち向かう姿勢を身に付けさせるなど、ウェルビーイングの向上に必要な機会であると感じています。

今後も、参加者の成長を支援するため、様々なプログラムや情報を提供できる場として、受入事業や主催事業の企画・実施を推進していきたいと考えています。



冬の訪れも

万之瀬川流域に渡り鳥が到来しました。秋の風が感じられるこの時期、川沿いではさまざまな渡り鳥が姿を現し、自然の美しい光景を楽しませてくれています。中でも、クロツラヘラサギが周囲の風景にひときわ目を引きまします。また、鴨たちが群れを成して静かな水辺に浮かぶ様子も、観察者を魅了しています。これらの鳥たちは、長い旅路を経て万之瀬川流域にやってきたもので、自然の営みを感じさせる貴重な存在です。渡り鳥たちの姿を目にすることで、季節の移ろいをより一層実感し、自然の大切さを改めて感じることができま



主催事業紹介

なんさつときどき探検隊①②

【第1回10月25日(土)～26日(日)】【第2回11月1日(土)～2日(日)】
小学校1・2年生を対象に、なんさつときどき探検隊を実施しました。1日目に「たんけんミッション！森のアドベンチャー」や「わくわく、ときどき！キャンドルセレモニー」、2日目は、「わくわく！朝日ウォッチング」や「つくろう！思い出！壁掛けアート」に挑戦しました。子供たちは、この2日間、親元を離れ、たくさんの「ときどき」、「わくわく」、を体験しました。また、今回も鹿南少ボランティアも6名ずつ参加し、低学年の子供たちへの寄り添い方や興味を惹きつける工夫を考えながら、子供たちと関わるすることができました。



なんさつキャンプ場まつり【11月23日(日)開催】

11月23日(日)に、なんさつキャンプ場まつりを開催しました。今回は、12家族42人の参加者となりました。午前中は、野外炊飯で大鍋を使ったカレーや豚汁を作ったり、キャンプギアの紹介を行ったりしました。午後からは、体験ワークショップとして、火起こし体験やホットサンドメーカー等を使ったキャンプデザート作りを行いました。キャンプの楽しさを味わい、たくさんの笑顔に包まれた秋の1日となりました。



今後の主催事業

事業名

対象・募集定員

12月13日(土)	なんさつ星空観望会 冬	どなたでも
12月14日(日)	なんさつ冬のクラフトまつり	(募集終了)
1月18日(日)	わくわく万之瀬川クルーズ①	10家族35人程度 締切 12月22日(月)
2月8日(日)	わくわく万之瀬川クルーズ②	10家族35人程度 締切 令和8年1月8日(月)
2月15日(日)	まるごと自然の家 in 枕崎	どなたでも
2月22日(日)	なんさつ春フェスタ (南薩少年自然の家)	どなたでも



〈問合せ先〉 県立南薩少年自然の家
〒899-3404 南さつま市金峰町高橋 3252
(TEL)0993-77-2500 (FAX)0993-77-1929
(ホームページ) <http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/>

